

感染症対策の基礎知識

72. 筋小胞体、細胞膜 (T 管) の Ca チャネルと悪性症候群①
73. 筋小胞体、細胞膜 (T 管) の Ca チャネルと悪性症候群②
74. 抗癲癇薬①
75. 抗癲癇薬②
76. 脳神経科学
77. 感染症の非特異検査 (プロカルシトニン)
78. 肝炎とワクチン
79. ヘルペスウイルス (Epstein-Barr、サイトメガロウイルス)
80. ワーファリン惹起性皮膚壊死とヘパリン誘起性血小板減少症
81. 代替・補完医療とトンデモ
82. 薬用石鹼の禁止
83. ピロリ菌感染症
84. 日本国内専用薬
85. 赤痢と偽膜性大腸炎 (*Clostridium difficile*)
86. 感染予防対策の成立
87. 感染の成立
88. 体内埋め込み電子機器の処理
89. 感染症法
90. アウトブレイク
91. パスツールと狂犬病ワクチン
92. ウイルス、レトロウイルス、ファージ
93. グラム陰性菌とエンドトキシン
94. 非病原性菌 (時々病原性) 2 多剤耐性アシネトバクター
95. 非病原性菌 (時々病原性) 3 ヘモフィルス・インフルエンザ
96. 抗菌薬ー 1 (β ラクタム環とアミノグリコシド)
97. 抗菌薬ー 2 (殺菌的/静菌的抗生剤)
98. 抗菌薬ー 3 (β ラクタム環耐性)
99. 抗菌薬ー 4 (グリコペプチドに対する耐性)
100. 抗菌薬ー 5 (緑膿菌類、バークホルデリア、ステノトロホモナス)
101. 抗真菌薬
102. 微生物の進化
- 103.
- 104.
- 105.
- 106.